

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 僧帽弁手術後の一酸化窒素吸入療法有効性の検討

研究の目的

肺高血圧症治療薬の一つである一酸化窒素は、選択的肺血管拡張薬で、今まで新生児肺高血圧症、小児心臓手術後の肺高血圧症に対して使用されてきました。最近では、成人弁膜症の手術後に一酸化窒素を使用した症例が報告されていますが、国内からの報告は限られています。我々は、成人僧帽弁手術後の肺高血圧症に対する一酸化窒素使用の有用性を明らかにします

研究実施期間： 2022年3月12日～2023年3月31日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2017年1月1日～2020年9月30日までの間、附属病院心臓血管外科科を受診し、僧帽弁手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、周術期情報について、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、手術時の年齢、術前心臓超音波検査所見、術前心臓カテーテル検査所見、術式、術後カテーテル所見、術後気管挿管時間、ICU 滞在期間について統計解析的手法を用いて比較することで、一酸化窒素吸入療法の有用性について検討します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

呼吸器外科・心臓血管外科・佐々木花恵 geka1@hirosaki-u.ac.jp